

製品名: MYH6 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab14297

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	200kDa

抗原情報

遺伝子名	MYH6
別名	Myosin-6 (Myosin heavy chain 6) (Myosin heavy chain, cardiac muscle alpha isoform) (MyHC-alpha)
遺伝子 ID	4624.0
SwissProt ID	P13533
免疫原	ヒト MYH6 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 341-390

背景

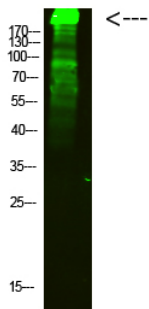
心筋ミオシンは、2つの重鎖サブユニット、2つの軽鎖サブユニット、および2つの調節サブユニットからなる六量体です。この遺伝

子は、心筋ミオシンの α 重鎖サブユニットをコードしています。この遺伝子は、心筋ミオシンの β 重鎖サブユニットをコードする遺伝子の約4kb下流に位置しています。この遺伝子の変異は、家族性肥大型心筋症および心房中隔欠損症3を引き起こします。[RefSeq提供、2010年3月]疾患: MYH6の欠陥は、家族性肥大型心筋症(CMH) [MIM:192600]の原因です。FHCまたはHCMとも呼ばれます。家族性肥大型心筋症は、心室肥大を特徴とする遺伝性心疾患で、通常は非対称性で、しばしば心室中隔が侵されます。症状には呼吸困難、失神、虚脱、動悸、胸痛などがあり、運動によって容易に誘発されることがあります。この疾患は良性から悪性まで、家族内および家族間で病状のばらつきがあり、心不全および突然死のリスクが高くなります。、疾患: MYH6遺伝子の欠陥は、心房中隔欠損症3型(ASD3)の原因です[MIM:160710]。ASD3は先天性心奇形であり、心房間の壁が不完全に閉じることで左心房から右心房への血流が生じることを特徴とする。、ドメイン:棒状の尾部配列は高度に反復性であり、4つのヘプタペプチドで構成される28残基の反復パターンのサイクルを示し、アルファヘリックスコイルドコイルの特徴を示す。、機能:筋肉の収縮。、その他:各ミオシン重鎖は、1つのライトメロミオシン(LMM)と1つのヘビーメロミオシン(HMM)に分割できる。その後、2つの球状サブフラグメント(S1)と1つの棒状サブフラグメント(S2)にさらに分割されます。、その他:心筋ミオシン α アイソフォームは「高速」ATPaseミオシンであり、 β アイソフォームは「低速」ATPaseです。、類似性:1つのIQドメインを含みます。、類似性:1つのミオシン頭部様ドメインを含みます。、細胞内位置:筋原繊維の太いフィラメント。、サブユニット:筋肉ミオシンは、2つの重鎖サブユニット(MHC)、2つのアルカリ軽鎖サブユニット(MLC)、および2つの調節軽鎖サブユニット(MLC-2)で構成される六量体タンパク質です。、

研究分野

心筋収縮、タイトジャンクション、肥大型心筋症(HCM)、拡張型心筋症、ウイルス性心筋炎。

画像データ



MYH6 ウサギポリクローナル抗体 (1:2000 希釈) を用いたマウス心臓細胞のウェスタンブロット解析 (4°C、一晚)。二次抗体: ヤギ抗ウサギ IgG IRDye 800 (1:5000 希釈 25°C、1 時間)